

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

日野市のごみ情報誌

「エコー」

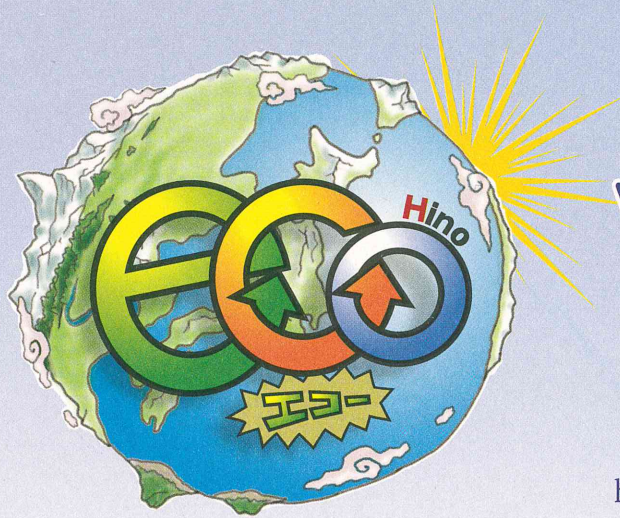
Vol.29 平成23年10月

発行 日野市環境共生部
クリーンセンター
ごみゼロ推進課
〒191-0021
日野市石田 1-210-2
☎ 042-581-0444
FAX 042-586-6606

<http://www.city.hino.lg.jp/>

5つのRで始まるキーワード

- ① 断る リフューズ Refuse
- ② 減量 リデュース Reduce
- ③ 何度も使う リユース Reuse
- ④ 返す リターン Return
- ⑤ 分別徹底 リサイクル Recycle



分別 お迷い クイズ

Q あなたはどのように出していますか？



ペットボトル

答えは、この冊子内のどこかに掲載されています

前年度のごみ量が確定
一人1日当たりのごみ量700gを割る！

4~5面

今号の主な内容

- 「いなげや」レジ袋収益金を小学校に還元 2面
- “東日本大震災”ごみ処理で支援 3面
- 連載「クリーンセンターの建て替え」 3面
- 市民のページ「使い捨てのライフスタイルを変えよう！」 6・7面
- 日野市オリジナル「段ボールコンポスト」 8面

「いなげや」からレジ袋収益金が
小学校に還元されました



市と「日野市ごみ減量推進市民会議」の要請にこたえて、(株)いなげやが市内3店舗でレジ袋の無料配布中止

マイバッグ持参率は順調に推移しており、いなげやでは、レジ袋を販売(1枚5円)した場合の収益金を市民に還元するため、3つの小学校に対してそれぞれ学校が希望した環境教材を贈呈しました(写真は4小での贈呈風景)。

市内では「コープとうきょう」もレジ袋無料配布中止に取り組んでいます。引き続き、お買い物にはマイバッグを持参して環境にやさしいお店を応援し、レジ袋無料配布中止を市内全域に広めましょう。

▽贈呈内容 1小に日野駅前店か

東日本大震災のごみ処理で支援しました

去る3月11日に発生した東日本大震災。多摩地域でも震度5弱を観測しましたが、当クリーンセンターでは被害はなく、安定稼働を続けることができました。東日本の各地で被災された方に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りします。



この復旧・復興に少しでもお役に立とうと、4月にクリーンセンターの職員4人が仙台市に赴き、仙台市民が公園に持ち込んだ災害ごみを手積みし(写真)、同市の清掃工場へ運搬する作業を5日間行ないました。

また、東京都からの要請により、被災地で処理できない可燃ごみの処理を都内23区と多摩地域の一部の清掃工場で支援することが検討されています。当市における対応

ら観葉植物を約5万円分/4小に万願寺駅前店から水槽・じょうろなどを約9万円分/東光寺小に栄町店から緑化用品などを約5万円分

22年度 小金井市・国立市の
家庭から出された
可燃ごみの処理を支援

二枚橋衛生組合の解散により処理できない小金井市の可燃ごみを、「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」及び緊急的・人道的な見地からクリーンセンター地元環境対策委員会の合意を得て、平成22年度も受け入れました。搬入は6~8月と1~2月の5か月間で、合計2千447・2トンの処理量でした。なお、小金井市は多摩川衛生組合にも支援を依頼していましたが、多摩川衛生組合での施設事故による運転停止があったので、当市が増量して支援を行いました。

また、その多摩川衛生組合加盟の国立市の可燃ごみも、7月の1か月間で607・94ト受け入れました。

が決まりましたら、「広報ひの」や市のホームページなどでお知らせします。

減量して、処分場周辺環境と
市財政の負担を軽減しましょう

日野市を含む多摩地域の25市1町の家庭から出されたごみは、各自治体の中間処理場で破砕や焼却などの後、日の出町にある最終処分場に運ばれて、セメントの材料に加工されたり、埋め立てられています。

処分場の延命化を図るため、毎年搬入量に上限(配分量)が設けられています。当市は昨年度可燃ごみが9%(305ト)オーバーし、不燃ごみは17%(239立方メートル)減量貢献しました。超過した分は超過金(1ト当たり2万円)を支払わなくてはなりません。

処分場は周辺住民のご理解の上に成り立っています。環境・財政両方の負担軽減のために、ごみと資源物の一層の減量にご協力をお願いします。

ペットボトルの正しい
出し方を再確認してください

買ったお店の回収ボックスにペットボトル・トレイなどの資源物をお返しする「容器包装お返し大作戦」の実行をお願いしていますが、ペットボトルを市の回収に出す場合は「キャップとラベルを外す、ボトルをすすぐ、平らにつぶす」のルールをお守りください。なお、調味料のペットボトルはノンオイルのものに限ります。また、お店にお返しする場合も、各店のルールをしっかり守りましょう。コンビニエンスストアのごみ箱は回収ボックスではありませんから、お返しできません。

クリーンセンターの焼却灰等の
放射能測定結果を公表しています

クリーンセンターの焼却灰等の放射能濃度を測定し、公表しています。これまで健康に影響を与えない数値は検出されていません。詳しくは、クリーンセンター施設課のホームページをご覧ください。

クリーンセンターの
建て替え

クリーンセンターの建て替え計画は、汚泥再生施設が竣工し、今後、ごみ処理施設の建て替えを進めていくこととなりますが、今号からごみ処理施設建て替えに当たっての基本的な考え方をお知らせしていきます。

安全で安心できる施設

ごみ処理施設は、例えばスプレー缶の分別不徹底が原因となる破裂・火災などが起きる可能性もあります。そこで、周辺住民が安心して生活できるよう、トラブル防止に対応できる施設を整備することと、その運転に当たっては安全管理に十分に配慮した運営を行うことが重要です。つまり、「安全で安心できる施設」を目指して、建て替え計画を進めていきます。また、施設の内部をわかりやすく見学できるように配慮し、ごみ問題の啓発と環境教育の起点となる施設を目指します。

全国の病院・診療所の 処方せん 受け付けます

ノムラ薬局

http://www.nomura-pharmacy.com

信頼と実績で30年、
お気軽にご相談下さい



会員募集
ごみ減量や生ごみリサイクルについて一緒に考えませんか?
日野市ごみ減量推進市民会議
毎月第2木曜日午後2時から定例会
生ごみリサイクルサポーター
隔月第4金曜日午後1時30分から定例会
詳しくは ごみゼロ推進課(☎581-0444)へ

ごみ・資源物の排出には、
ルールを守ってお互い気持ちよく
お隣がごみをためているようで臭い...近所のアパートのペットボトルの出し方がひどい...そんな苦情が市に寄せられています。「ごみ・資源分別カレンダー」を参照して正しく排出しましょう。

目指せ！多摩地区ベスト1

多摩地区30市町村ランキング

可燃ごみ	不燃ごみ	総ごみ	リサイクル率
ベスト1 小金井市 (前年) ↓ 日野市 419.3g 1ランクダウンの 4位	ベスト1 羽村市 2ランクダウンの 27位 (前年) ↓ 日野市 91.2g	ベスト1 小金井市 (前年) ↓ 日野市 697.4g 1ランクダウンの 8位	ベスト1 小金井市 1ランクアップの 16位 (前年) ↑ 日野市 36.6%
ワースト1	ワースト1	ワースト1	ワースト1

※数字・順位は東京市町村自治調査会調べ

平成22年度のごみ量報告

ありがとうございます！そして、さらに頑張りましょう！

一人1日当たりのごみ量700gを割る！



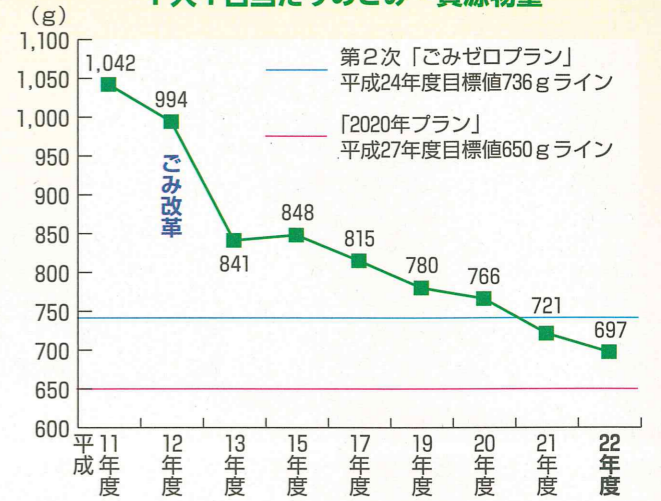
平成22年度の市民一人1日当たりの総ごみ量(資源物や持込ごみ量を含む)は、697gとなりました。平成21年度と比較すると24g減になり、平成12年のごみ改革後最少のごみ量になりました。また、平成21年度より人口が約1%増えたにもかかわらず、総ごみ量は約2.6%、1千208ト減って4万5千236トになりました。その内、資源物は全体で3%減量することができました。特に、昨年4月から開始した「容器包装お返し大作戦」の成果は右図のとおりで、約3割の減量に成功しました。これは、皆さんが日頃からごみと資源物の減量について高い意識を持ち、努力された結果です。ご協力ありがとうございました。



しかし、目標はさらに上です。市民参画で策定した「環境基本計画」では、一人1日当たりの排出量が平成22年度に多摩地域で一番少ない自治体になろうという目標を掲げていますが、第1位との差は約76gもあります。各自治体も努力している中で、多摩地域のランキングで日野市の順位は下がっています。今後も、下記のワンポイントアドバイスを参考に、一人1日さらに100gのごみと資源物の減量にご協力をお願いします。

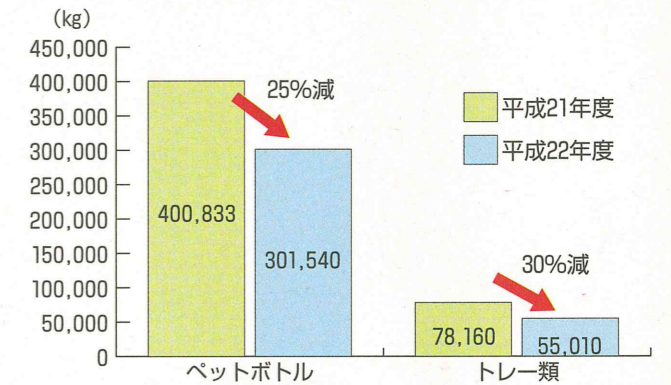
「ごみ改革」後、最少の排出量

1人1日当たりのごみ・資源物量



「容器包装お返し大作戦！」の成果

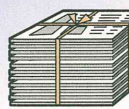
市の処理量(容器包装リサイクル協会への引き渡し量)



可燃ごみ

家庭から出るごみ・資源物の56%が「可燃ごみ」。その半分が「生ごみ」です。

生ごみの減量は「食材を買い過ぎない」「食べ残さない」「水分を絞る」など、ちょっとした工夫ですぐにでも始められます。また、「たい肥化容器」を使うことも有効。本誌8面に新しい容器を紹介していますのでご覧ください。



新聞

市民1人1日当たりのごみ量を減らすためには、新聞紙を販売店による回収

や、子ども会・老人クラブなどが実施している集団回収に出すことが有効です。新聞はチラシも含めると1日分約400gもあります。なるべく販売店回収・集団回収をご利用ください。その際も、ルールをしっかりと守ってください。



不燃ごみ

不燃ごみの大半を占めるのが「ビニール・プラスチック類」です。資源物としてお店

にお返しできるものや、市の資源物回収に出せるものを、ごみにしてしまってはもったいない！

上記の「ランキング表」で判るように、日野市は不燃ごみ量が多い自治体です。分別徹底をしっかりと行ないましょう。

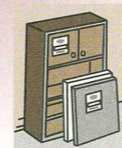
【レジ袋を断る】1世帯当たり年間600枚も使用されると言われているレジ袋。これは、日野市全体ではなんと年間4,800万枚も使われている計算になります。「ごみになるものを断る」ことは、ごみ減量の中で一番大事なことです。お買い物には「マイバッグ」を持って行き、レジ袋を断りましょう。



あと100g！

出来ることからチャレンジを

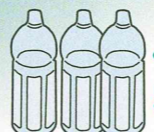
さらに減量するためのワンポイント



粗大ごみ

大震災をきっかけに、室内の片付けを行なう方が増えているように、粗大ごみの収集

量が前年度より多くなる傾向にあります。廃棄する前に、リユース(再使用)できないか考えてみてください。まだ使える家具などを引き取る「リサイクル事務所」も大きな味方。詳しくは「ごみ・資源分別カレンダー」を参照してください。



ペットボトル

ペットボトルは便利な製品ですが、製造にもリサイクルにも多くのエネルギーと費用

を要します。水筒やマイポットを使用すれば、ペットボトルの使用量を減らせます。

また、買ったお店の回収ボックスにお返しする場合も市の回収に出す場合も、ルールをしっかりと守ってリサイクルできるように努めましょう。



トレー類

【量り売りで買う】食品などで量り売りをしていたら、積極的に利用しましょう。余分なトレーやポリ袋などを減らすことができます。容器包装は、使い捨てなのでまず最初に減らしたいごみです。

【詰め替え商品を選ぶ】容器がまだ使える場合は、詰め替え商品を購入して再利用し、容器の無駄をなくしましょう。

【ルールを守ってお返し・排出を】買ったお店の回収ボックスにお返しする場合も市の回収に出す場合も、それぞれのルールを守ってください。ルール違反の排出は、その是正のためにエネルギーや費用を浪費し、結果的にごみを増やすことにもつながってしまいます。

使い捨てのライフスタイルを変えよう!

マイボトルを持ち歩き、 ペットボトルを買わないようにしましょう!

ペットボトル飲料水は、生産から自販機での販売の段階までに、多くのエネルギーを消費し、多くのCO₂を排出します。

外出する際には、マイボトル（水筒）に水道水を詰めて持参し、外出先でペットボトル飲料水を買わなければ、エネルギーを節約でき、CO₂を削減できます。



市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。



Part 21

目指せ!ごみゼロ

会議などでは、ペットボトルの使用をやめよう!



イベントではペットボトルや使い捨て食器や割り箸は使わず、 マイ食器やリユース食器や洗い箸を使おう!

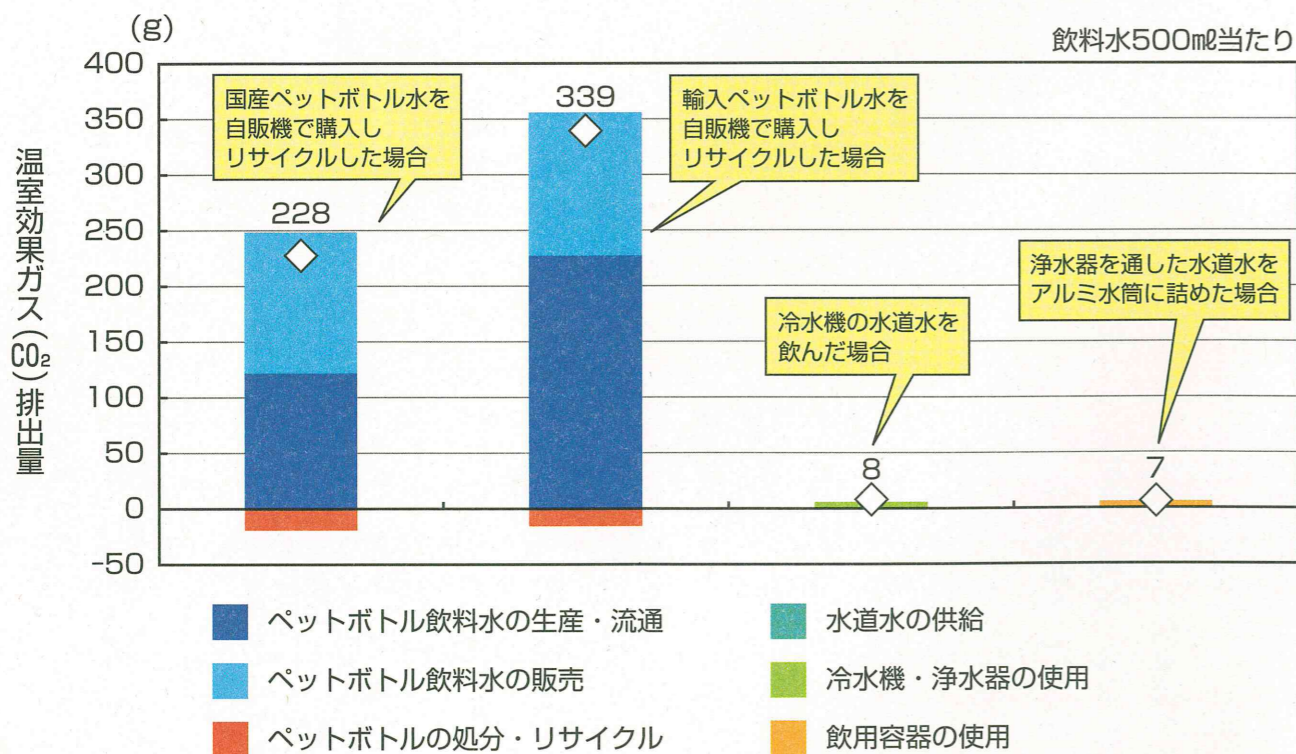


ペットボトルのCO₂排出量は水道水の数十倍

ペットボトル飲料水と水道水のCO₂排出量の比較

外出先で国産や輸入のペットボトル飲料水を飲んだ場合は、冷水機の水道水を飲んだり、水筒に水道水を詰めて持って行った場合に比べて、数十倍のCO₂を排出。

(東京大学・平尾研究室によるライフサイクルアセスメント (LCA) 分析結果から)



買い物にはマイバッグを持参し、 レジ袋を断ろう!



マイ箸を持ち歩こう!



皆さんも、できることからチャレンジを!

生ごみの家庭内循環を推進

日野市オリジナル「段ボールコンポスト」をおすすめします

家庭で生ごみをたい肥にすることは、可燃ごみの約半分を占める生ごみを減らすことにつながり、資源が循環する社会をつくるために重要なことです。市では、生ごみの家庭内循環を推進するために、生ごみ堆肥化容器の購入金額の半額を補助する事業をしています。この補助事業の推奨品として、このたび『段ボールコンポスト』を加えましたので、ご活用ください。

この『段ボールコンポスト』は、字句どおり段ボールでできており、安価で、プラスチック製品よりも環境にやさしいものです。お庭や畑のない家庭でも手軽に体験できるようにと、市民と協働して開発し、市内福祉施設と協力して作製しました。生ごみを混ぜ込む基材には多摩産の竹から作った「竹パウダー」（竹を細かく破碎したもの）を使用したり、段ボールに被せる虫除けカバーは、古布リサイクル品から作ったりするなど、工夫と試行錯誤を重ねた日野市オリジナル品です。



自己負担額
1,250円
製品代 2,500円の半額を補助します

▲竹パウダー



いい土を作りましょ

生ごみたい肥化容器
購入補助金制度

「段ボールコンポスト」の他にも、市が推奨している容器があります。詳しくはごみゼロ推進課にお問い合わせください。

▼申込方法

ハガキに①住所②氏名③電話番号④購入を希望する生ごみ処理器の製品名⑤購入希望数を記入し、ごみゼロ推進課（宛て先は本誌1面参照）に申し込みを。補助は1世帯につき2基まで。申込受付後2週間程度でご自宅へ配達します。

▼製品の受取りと支払い

配達時に、補助金の受け取りに関する書類に記入・押印して、自己負担額をお支払いください。

参加者募集中

「生ごみリサイクルステッカー」を掲示しましょ

市では、家庭での生ごみ処理の輪が更に広がるよう、



また、生ごみを可燃ごみとして出さない人が市内にどの位いらっしゃるのかが分かるよう、玄関ドアなどに掲示する右図のようなステッカー（直径7センチ）を市民と協働で作成しました。生ごみをリサイクルされている方は、①実践しているリサイクルの具体的な方法（干す／土に埋める／コンポスト容器／手動・電動式処理機器など）②経験年数③住所・氏名・電話番号を記載し、ごみゼロ推進課へFAXか電話でお申し込みいただき、ステッカーを掲示してください。